

標準字体	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	°	一												
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	
	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン		

通勤災害用

療養給付たる療養の給付請求書

事項をよく読んで上で、記入してください。

標準字体で記入してください。

※印の欄は記入しないでください。(職員が記入します。)

折り曲げる場合には(▲)の所を谷に折りさらに2つ折りにしてください。

※ 帳票種別 ①管轄局署 ②業通別 ③保留 ④処理区分 ④受付年月日

3 4 5 9 0 □ □ □ □ 3 1 業通 1 全レセ 3 全給付 □ □

⑤ 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号

労働保険番号 2 2 3 0 2 9 3 2 6 5 0 9 9 9

⑦ 支給・不支給決定年月日

※ □ □ □ □ □ □ □ □

⑧ 性別 ⑨ 労働者の生年月日 ⑩ 負傷又は発病年月日

(1男 3女) 1 5 5 9 0 6 0 9 7 2 9 0 5 3 1

1~9年は右へ↑ 1~9月は右へ↑ 1~9日は右へ↑

⑪ 再発年月日

※ □ □ □ □ □ □ □ □

⑬ 三者 ⑭ 特別加入者

※ □ 1自 3労 5他 □ □

⑫ 労働者の氏名 田中一郎 (32歳)

⑮ 郵便番号 432-8017 フリガナ ハマツシナカフ 住所 浜松市中区 三組町 119

⑯ 職種 鋳物工

⑲ 通勤災害に関する事項 裏面のとおり

⑳ 指定病院等の名称 所在地 電話番号 局番 郵便番号

㉑ 傷病の部位及び状態

⑳の者については、㉑及び裏面の(ロ)、(ハ)、(ニ)、(ホ)、(ト)、(チ)、(リ)(通常の通勤の経路及び方法に限る。)及び(フ)に記載したとおりであることを証明します。

事業の名称 株式会社 ナナミ製作所 29年6月1日 (053) 421 局番 電話番号 6666

事業場の所在地 浜松市東区天龍川町 838 郵便番号 435-0013

事業主の氏名 代表取締役社長 名波 和夫 印

(法人その他の団体であるときはその名称及び代表者の氏名)

労働者の所属事業場の名称・所在地 電話番号 局番

(注意) 1 事業主は、裏面の(ロ)、(ハ)及び(リ)については、知り得なかった場合には証明する必要がないので、知り得なかった事項の符号を消してください。

2 労働者の所属事業場の名称・所在地については、労働者が直接所属する事業場が一括適用の取扱いを受けている場合に、労働者が直接所属する支店、工事現場等を記載してください。

3 派遣労働者について、療養給付のみの請求がなされる場合にあっては、派遣先事業主は、派遣元事業主が証明する事項の記載内容が事実と相違ない旨裏面に記載してください。

上記により療養給付たる療養の給付を請求します。

浜松 労働基準監督署長 殿 29年6月1日 (053) 452 局番 電話番号 1110

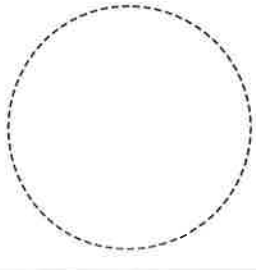
郵便番号 432-8017

住所 浜松市中区三組町 119 ( ) 方

氏名

病 院 診療所 薬 局 経由 訪問看護事業者

請求人の



支不支給決定決議書	署長	次長	課長	係長	係	決定年月日	・	・
	調査年月日	・	・	・	・	不支給の理由		
	復命書番号	第	号	第	号		第	号

この欄は記入しないでください。

(イ) 災害時の通勤の種類 (該当する記号を記入)	イ	イ。住居から就業の場所への移動 ハ。就業の場所から他の就業の場所への移動 ニ。イに先行する住居間の移動	ロ。就業の場所から住居への移動 ホ。ロに後続する住居間の移動
(ロ) 負傷又は発病の年月日及び時刻	29年 5月 31日 午後 8時 45分頃		
(ハ) 災害発生の場所	浜松市東区天龍川町 浜松銀行本店前旧国道 (二) 就業の場所 浜松市東区天龍川町838 (株)十三製作所 (災害時の通勤の種類がハに該当する場合は移動の終点たる就業の場所)		
(ホ) 就業開始の予定年月日及び時刻 (災害時の通勤の種類がイ、ハ又はニに該当する場合は記載すること)	29年 5月 31日 午後 9時 00分頃		
(ヘ) 住居を離れた年月日及び時刻 (災害時の通勤の種類がイ、ニ又はホに該当する場合は記載すること)	29年 5月 31日 午後 8時 35分頃		
(ト) 就業終了の年月日及び時刻 (災害時の通勤の種類がロ、ハ又はホに該当する場合は記載すること)	年 月 日 午後 時 分頃		
(チ) 就業の場所を離れた年月日及び時刻 (災害時の通勤の種類がロ又はハに該当する場合は記載すること)	年 月 日 午後 時 分頃		
(リ) 災害時の通勤の種類に関する移動の通常の経路、方法及び所要時間並びに災害発生の日に住居又は就業の場所から災害発生の場所に至った経路、方法、所要時間その他の状況	<p>[通常の通勤所要時間 時間 30分]</p>		
(ヌ) 災害の原因及び発生状況	JR天龍川駅から会社まで徒歩で出勤中、天龍川町 555浜松銀行前の国道で道路の縁石につまづき、 転倒し、左手首を骨折した。		
(ル) 現認者の住所	浜松市東区和田町1111-1		
氏名	佐藤 三郎		
(ワ) 転任の事実の有無 (災害時の通勤の種類がニ又はホに該当する場合)	有	無	(ウ) 転任直前の住居に係る住所

【項目記入にあたっての注意事項】

- 記入すべき事項のない欄又は記入枠は空欄のままとし、事項を選択する場合には当該事項を○で囲んでください。(ただし、⑧欄並びに⑨及び⑩欄の元号については該当番号を記入枠に記入してください。)
- 傷病年金の受給権者が当該傷病にかかる療養の給付を請求する場合には、⑤労働保険番号欄に左詰で年金証書番号を記入してください。また、⑨及び⑩は記入しないでください。
- ⑩は、請求人が健康保険の日雇特例被保険者でない場合には記載する必要はありません。
- (ホ)は、災害時の通勤の種類がハの場合には、移動の終点たる就業の場所における就業開始の予定時刻を、二の場合には、後続するイの移動の終点たる就業の場所における就業開始の予定の年月日及び時刻を記載してください。
- (ト)は、災害時の通勤の種類がハの場合には、移動の起点たる就業の場所における就業終了の年月日及び時刻を、ホの場合には、先行するロの移動の起点たる就業の場所における就業終了の年月日及び時刻を記載してください。
- (チ)は、災害時の通勤の種類がハの場合には、移動の起点たる就業の場所を離れた年月日及び時刻を記載してください。
- (リ)は、通常の通勤の経路を図示し、災害発生の場所及び災害発生の日に住居又は就業の場所から災害発生の場所に至った経路を朱線等を用いてわかりやすく記載するとともに、その他の事項についてもできるだけ詳細に記載してください。
- (ヌ)は、どのような場所を、どのような方法で往復している際に、どのような物で又はどのような状況において、どのようにして災害が発生したかをわかりやすく記載してください。
- 「事業者の氏名」の欄及び「請求人の氏名」の欄は、記名押印することに代えて、自筆による署名をすることができます。

【標準字体記入にあたっての注意事項】

□□□で表示された記入枠に記入する文字は、光学式文字読取装置で直接読取りを行いますので、以下の注意事項に従って、表面の右上に示す標準字体で記入してください。

- 筆記用具は黒ボールペンを使用し、記入枠からはみださないように書いてください。
- 「促音」「よう音」などは大きく書き、濁点、半濁点は1文字として書いてください。

(例) キッテ → キョ → バ →

- は斜の弧を書きはじめるとき、小さくカギをつけてください。

- はカギをつけずに垂直に、 の2本の縦線は上で閉じないで書いてください。

派遣先事業主 証明欄	派遣元事業主が証明する事項(表面の⑩並びに(ロ)、(ハ)、(ニ)、(ホ)、(ト)、(チ)、(リ)(通常の通勤の経路及び方法に限る。)及び(ワ))の記載内容について事実と相違ないことを証明します。		
	事業の名称	電話番号	局番
	年月日	事業場の所在地	郵便番号
	事業主の氏名	印	

(法人その他の団体であるときはその名称及び代表者の氏名)

表面の記入枠を訂正したときの訂正印欄	削字印 加字	社会保険 労務士 記載欄	作成年月日・提出代行者・事務代理者の表示	氏名 印	電話番号
--------------------	-----------	--------------------	----------------------	---------	------